

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p>認 可 時 (平成18年11月30日)</p>	<p>設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行い、その水準を一層向上させるよう努めること。</p>	<p>設置認可時における留意事項を受け、設置の趣旨・目的等を活かし計画を確実に履行するために、すでに設置して大学院開設準備を進めてきた「研究科設置準備委員会」を設置認可日以降8回開催し、その目的等が教員の共通認識となり設置計画に基づき履行するよう継続し、計画を実行できる環境を整備してきた。4月の設置以降は、毎月第1火曜日に研究科委員会を開催し、その履行進捗を確認し、実行するよう努める。</p> <p>また、充実した教育研究活動を実践するため、授業の受講に加え、TA及びRA制度を整備して、授業を受けるだけでなく、自身が教える立場として授業に参加し、自らの研究課題を自己点検でき、教員との連携も進めることができるようにしている。(前期についてはTA希望者27名全員を採用。RAも採用予定。後期は改めて採用準備を行う。)</p> <p>さらに、学術の理論及び応用を教授するために、これまで不定期で本学教員間における最新の研究内容の発表および情報共有を目的として行っている「バイオセミナー」を毎月1回(第4火曜日)の定例開催とする予定である。教員は、最新の研究内容を報告するとともに、参加した教員に加え、大学院生等にも公開し、互いのディスカッションにより、より高度な研究活動へと目指すものである。最終的には、それらの成果を質の高い大学院教育へと展開させていくよう努める</p> <p>設置の趣旨・目的等を活かし計画を確実に履行するために、平成19年4月以降、毎月第1火曜日に研究科委員会を開催してきた。設置計画の履行進捗を確認・実行するだけに止まらず、大学院の一層の発展・充実に向けて、種々議論を重ね、年間84件の諸議案を処理し具体化を図った。</p>	<p>該当なし。</p>
		<p>また、充実した教育研究活動を進めるため、「バイオセミナー」の定例開催(毎月第4火曜日)を行い、最新の研究内容を報告するとともに、大学院生等にも公開し、高度な研究活動に向けた相互批判と研修を行った。なお、研究発表には、本学教員のみならず、外部研究機関等から講師を招聘し、相互交流を図ることに努めている。</p> <p>大学院におけるFD活動を、学生の研究活動とその指導を統一的に捉えるなかで見出すことが重要との観点から、修士・博士論文の執筆に向けた「中間報告会」を開催し、学生のみならず教員の指導のあり方にも言及した相互研修を行うことを計画している。</p> <p>なお、TAは平成19年度前期後期ともに27名、平成20年度前期50名を採用した。またRAは平成19年度、平成20年度ともに1名を採用した。</p>	<p>該当なし。</p>

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成18年 11月30日)		<p>設置認可時における留意事項を受け、設置の趣旨・目的等を活かし計画を確実に履行するために、平成20年度に滋賀医科大学と長浜バイオ大学は、「バイオ医療学」という新しい学問領域の創出と人材育成をめざして連携事業を進めることになった。具体的には、教員派遣・施設提供・院生派遣などの活動が行われている。将来的には共同大学院事業を計画している。大学院のFD活動として外部講師を招聘し、研修会を持った。また、前年度計画に上がっていた修士・博士論文の中間発表会を開催し、教員との相互研修を行った。平成21年度、博士後期課程3年目に定員5名を充足させることができた。TA、RA制度も定着した。(21)</p>	

- (注) 1 「認可時」欄には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度(丸数字)を付記してください。
- 2 「設置計画履行状況調査時」欄には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- 3 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- 4 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。